

VERTEX Information

必要な橋はどれですか？



写真引用：国土交通省・道路橋点検要領

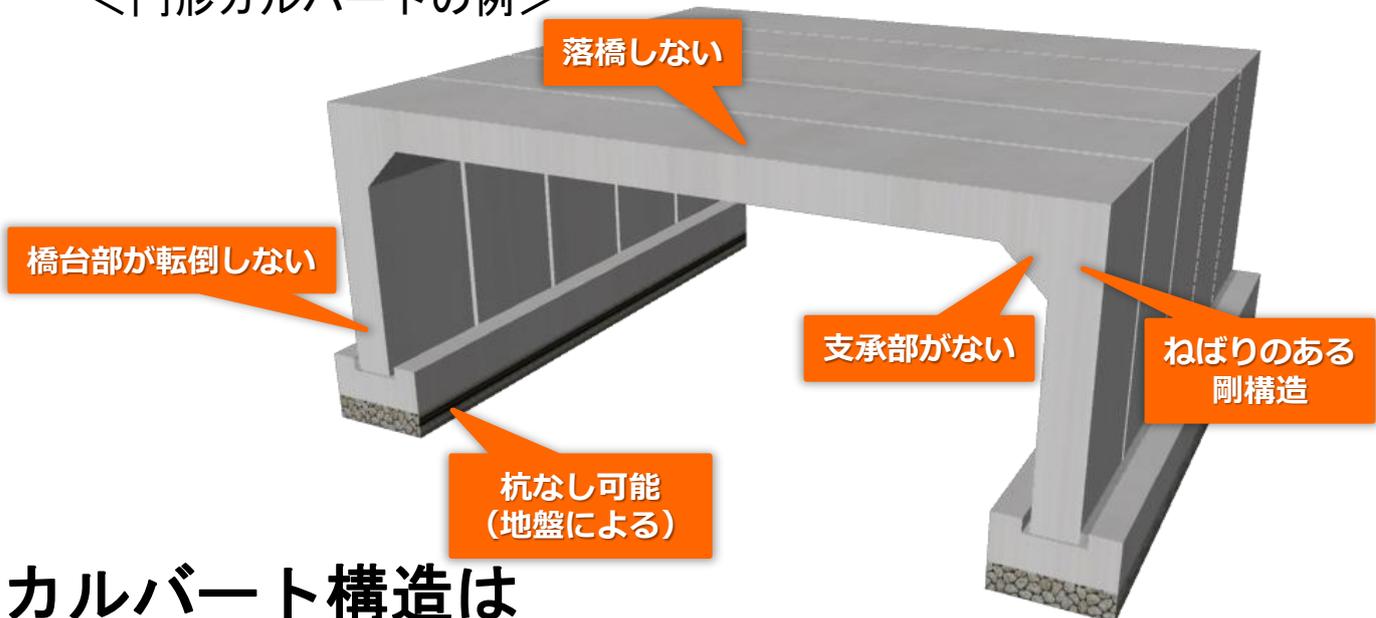
橋の点検・診断では、緊急医療の「トリアージ※」という視点の重要性が指摘されています。

※語源は「選別」を意味するフランス語の「triage」
同時に多数の患者が出た時に、手当ての
緊急度に従って優先順をつけること。

将来的に持続可能な橋は

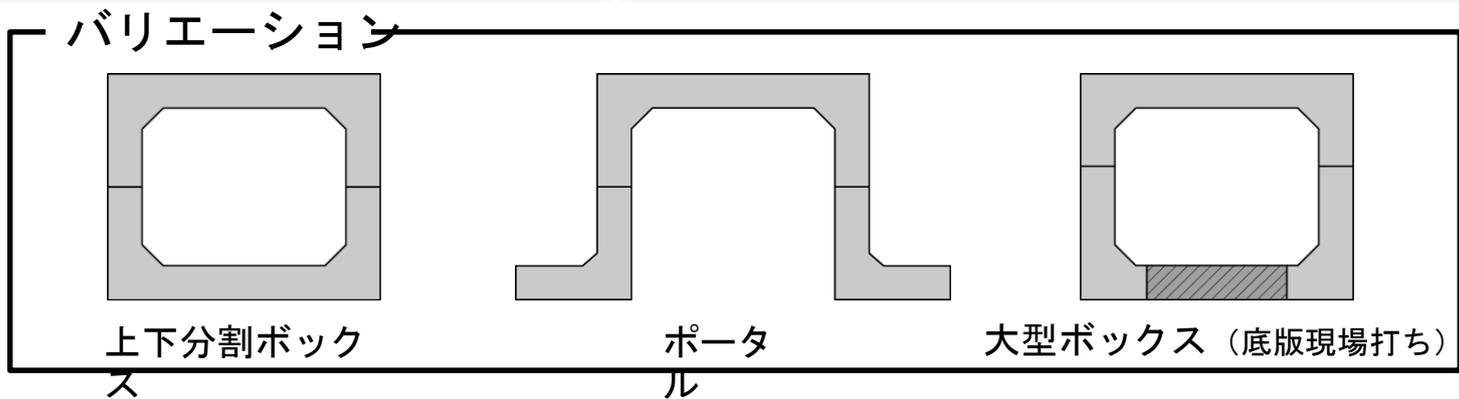
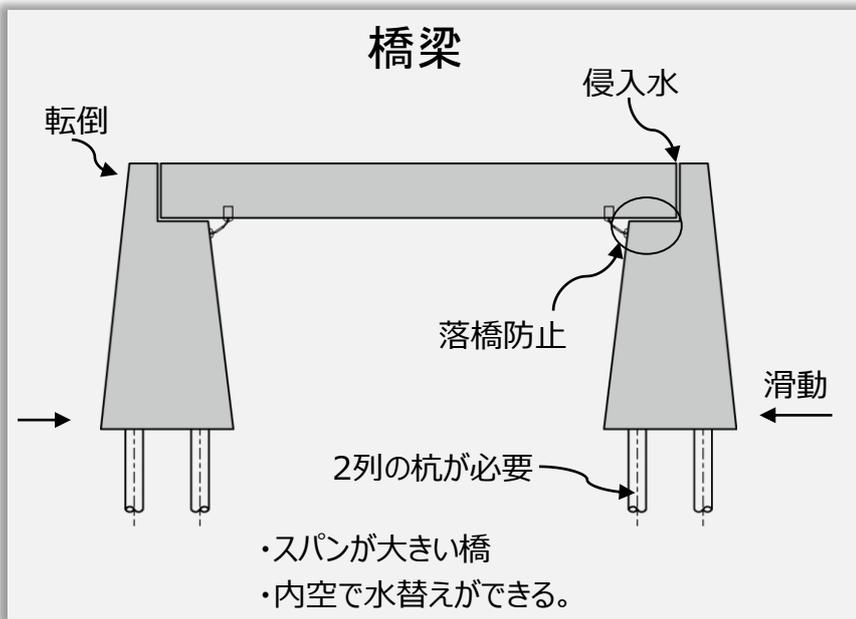
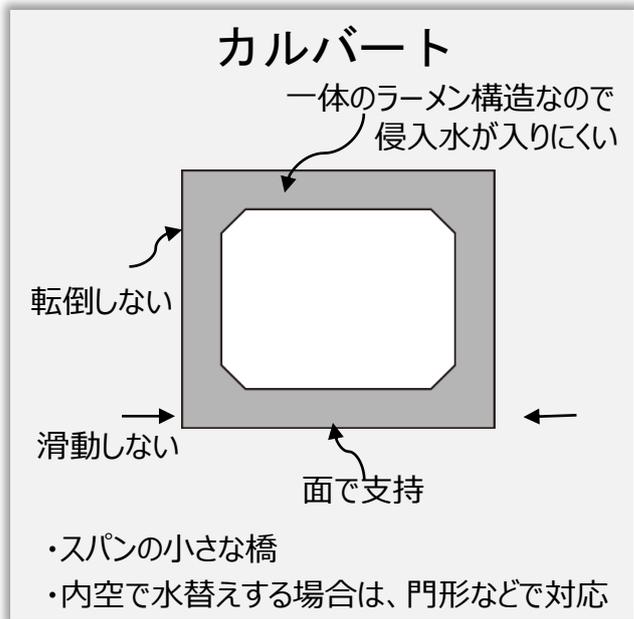
50年・100年先を見据えた「生まれ変わり（架け替え）」という選択肢もあります。

<門形カルバートの例>



カルバート構造は

定期点検の項目が低減できます。



国交省では

プレキャストボックスの活用検討を推進しています。

- ・対象内空断面積 = 40m²以下
 - ・予備設計より現場打ちとの比較時に雪寒仮囲い等の仮設費、交通規制なども考慮して検討
- 定期点検要領の改訂（H31.2）が行われました。**

構造の種類	合理化の方向性
溝橋（ボックスカルバート）	<ul style="list-style-type: none"> ・着目すべき箇所を低減可能 ・内空が水路等、利用者被害の影響が小さい個所では、内空面の打音・触診を省略可能
大型カルバート	<ul style="list-style-type: none"> ・内空が水路等、利用者被害の影響が小さい個所では、内空面の打音・触診を省略可能

引用：国土交通省

架け替え施工事例

